

【日 時】 平成 26 年 2 月 20 日

【訪問先】 瀬ヶ崎小学校 大塚ちあり校長先生

【概 要】 児童数 475 名 16 学級 各学年 2 学級 (2,6 年生のみ 3 学級) 特別支援学級 2 組
職員数 24 名

【視察報告】

1、校長先生のモットー

『ありの目、たかの目、こころの目』ありのように小さな視点で、そしてたかのように大きな視点で。さらにはこころの目で見えないものを見る。そうすることでよりよい学校作りを目指す。

2、英語・国際教育の取り組み

外国籍の子や日本国籍だが日本語が不自由な子はいるが、地域の方の強力な支援があり、その言語を話せる地域の方を探し、日本語指導や授業のサポートをしてもらっている。両親が日本語を話せず、親子間でうまくコミュニケーションを取れない場合がある。また今年度の国際理解の授業ではネパール人の先生を招き、日本の学校とネパールの学校の違いなどについての授業が設けられた。

3、地域のボランティアの協力

瀬ヶ崎小学校は地域とのつながりが強く、学援隊の方々自主的に子供たちの登下校の見守りを行っている。また六浦東連合の方々主催の『ふれあい祭り』では、琴や浴衣・ブーメランや割り箸鉄砲・フラワーアレンジメントに至るまで、様々な体験学習が用意されている。足に障害を抱える子の登校支援も六浦東連合の方がしてくれている。音楽室や図書室の椅子もボランティアで全て修理してくれたのも地域の木工さん。キーマンは六浦東連合町内会の岩崎会長。

4、地域との防災の取り組み 年に数回避難訓練を行っている。

5、道徳教育や郷土愛を育む取り組み

1 年生が対象の『昔あそびの会』では、たけうまやお手玉・こまや竹とんぼなどの昔あそびを通して、地域の方と交流している。また 4 年生が行う『2 分の 1 成人式』は、今まで 10 年間育ててくれた両親への感謝の思いの発表の場。

6、体力強化や部活動の取り組み

全校児童が 4 グループに分かれて遊ぶ『なかまタイム』があり、6 年生が中心になって異学年交流が図られている。

7、学校組織の強化・人材育成

児童・職員の人権意識向上のためにも様々な形で人権研修を行う。

8、その他

瀬ヶ崎小学校は平成 26 年に創立 60 周年を迎え、地域の方々や PTA の役員さんが中心になり『創立 60 周年行事実行委員会』を発足。アスレの森の整備の他、様々な取り組みを行う予定。

【所感】

休み時間に子供たちが校長室へ来て九九の練習をして、出来たら免許証を渡している光景からは、校長先生の子供たちに対する熱い想いが伝わってきて、とても印象的だった。地域との連携も素晴らしく、子供たちが満足して生活できる学校作りがなされていると感じた。人権教育には特に熱心で、二分の 1 成人式を見学させてもらい、10 歳に成長した四年生たちの親への感謝の気持ちに感動した。

